



## 研修日程

### ■ 基調講演・国内外の事例紹介

10月14日（金）～10月31日（月） オンデマンド配信

デジタル技術の進歩が私たちの日常生活に変化をもたらしている中、多様なニーズに合わせたジェンダー平等なデジタル技術の享受にむけての基調講演と取組事例を配信します。

### ■ パネルディスカッション

10月21日（金） 14:00～16:00 ライブ配信

（10月31日（月）まで見逃し配信）

研究者、ユース（若い世代）、実践家が、デジタル技術に潜むジェンダー課題と社会課題をテクノロジーで解決するために市民がいかに関わるができるか、市民の主体的な取組について議論を交わします。

詳細はこちら↓

<https://www.nwec.jp/global/seminar/j67gf500000007jj.html>



## 内閣府からのお知らせ

### （1）小倉大臣が APEC 女性と経済フォーラム(WEF)に参加しました。

9月7日（水）、APECで毎年行われている「女性と経済フォーラム」がタイ（バンコク）で開催され、小倉大臣がハイレベル政策対話に登壇しました。

本年の会合では、「女性の経済的自立の確立（Ensuring Women's Economic Empowerment）」をテーマとして、各エコノミーから様々な取組が共有され、大臣からは、日本政府の取組について以下のとおり発信しました。



## 大臣の発言ポイント

- 女性の経済的自立は、日本政府が進める「新しい資本主義」の中核であること。
- 日本政府として、デジタルなどの分野への女性の労働移動に取り組んでいること。
- OSTEM 分野への女子学生の進路選択に関する理解促進にも取り組んでいること。

会合では「2022APEC 女性と経済フォーラム議長声明」が取りまとめられました。また、日本は豪、加、韓国、NZ、米とともに、ロシアのウクライナ侵略に対して共同プレスリリースを発出しました。

会合の詳細や声明の内容は、男女局同参画局 HP をご覧ください↓

[https://www.gender.go.jp/international/int\\_kaigi/int\\_apec/wef2022.html](https://www.gender.go.jp/international/int_kaigi/int_apec/wef2022.html)

## (2) 小倉大臣が G20 女性活躍担当大臣会合に参加しました。

8月24日(水)～25日(木)、2回目となる女性活躍担当大臣会合が開催され、小倉大臣がオンラインで参加しました。

2日に渡り3つのテーマ別セッションで女性活躍について議論が行われ、小倉大臣は1日目の第2テーマ別セッション「デジタルにおけるジェンダーギャップ(Closing Digital Gender Gap: Women's Participation in the Digital Economy and Future Work)」に登壇し、日本の男女共同参画の取組や「デジタル分野におけるジェンダーギャップ解消」の重要性とその具体的施策について発信し、各国から理解を得ました。

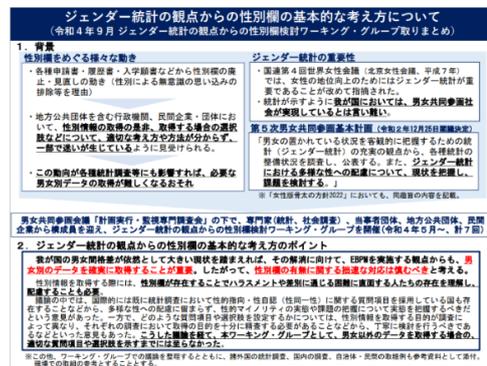


会合の詳細は、男女局同参画局HPをご覧ください↓

[https://www.gender.go.jp/international/int\\_kaigi/int\\_g20/meeting\\_202208.html](https://www.gender.go.jp/international/int_kaigi/int_g20/meeting_202208.html)

## (3) 「ジェンダー統計の観点からの性別欄の基本的な考え方について」を公表しました。

昨今の性別欄をめぐる様々な動きを受けて、ジェンダー統計における多様な性への配慮について、現状を把握し、課題を検討することを目的に、「ジェンダー統計の観点からの性別欄検討ワーキング・グループ」を開催し、令和4年5月から7回にわたり、議論を行ってきました。その取りまとめとして、「ジェンダー統計の観点からの性別欄の基本的な考え方について」を公表いたしました。



詳しくは、こちらを御覧ください。↓

<https://www.gender.go.jp/kaigi/senmon/wg-seibetsuran/index.html>

## (4) 第61回－ESRI 政策フォーラムの開催について－

日本では、30歳時点での男性の未婚率は50%、50歳時点でも28%となり、95%以上の男女が結婚した昭和の時代から様変わりしています。また、離婚が増え、毎年の離婚件数は婚姻件数の3分の1となり、50代、60代女性の約2割は離婚経験があります。

「もはや昭和ではない」。令和の時代の女性の人生、家族、社会の実態に即した少子化対策の在り方について、客観的なデータに基づいて新たな発想で討議し、幅広い議論を喚起するため、経済社会総合研究所(ESRI)が主催するESRI政策フォーラムのシリーズ企画として、『**静かなる有事**』少子化と男女共同参画』を立ち上げます。

そして、本シリーズの第1回として、「人生100年時代の若者の恋と結婚」をテーマに開催します。ぜひご参加ください。

【開催日時】2022年10月4日（火）14:30～16:15（予定）

【プログラム】（予定）

- 冒頭挨拶 森 まさこ 内閣総理大臣補佐官（女性活躍担当）
- 基調講演 林 伴子 内閣府経済社会総合研究所次長（前男女共同参画局長）
- プレゼンテーション及びパネルディスカッション

登壇者（予定）：

〈コーディネーター〉 林 伴子 内閣府経済社会総合研究所次長（前男女共同参画局長）

〈パネリスト〉 山田昌弘 中央大学文学部教授

山口慎太郎 東京大学大学院経済学研究科教授

永田夏来 兵庫教育大学大学院学校教育研究科准教授

櫻井彩乃 #男女共同参画ってなんですか 代表, ジェンカレッジ代表

詳細はこちら↓

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/esri/workshop/menu.html>

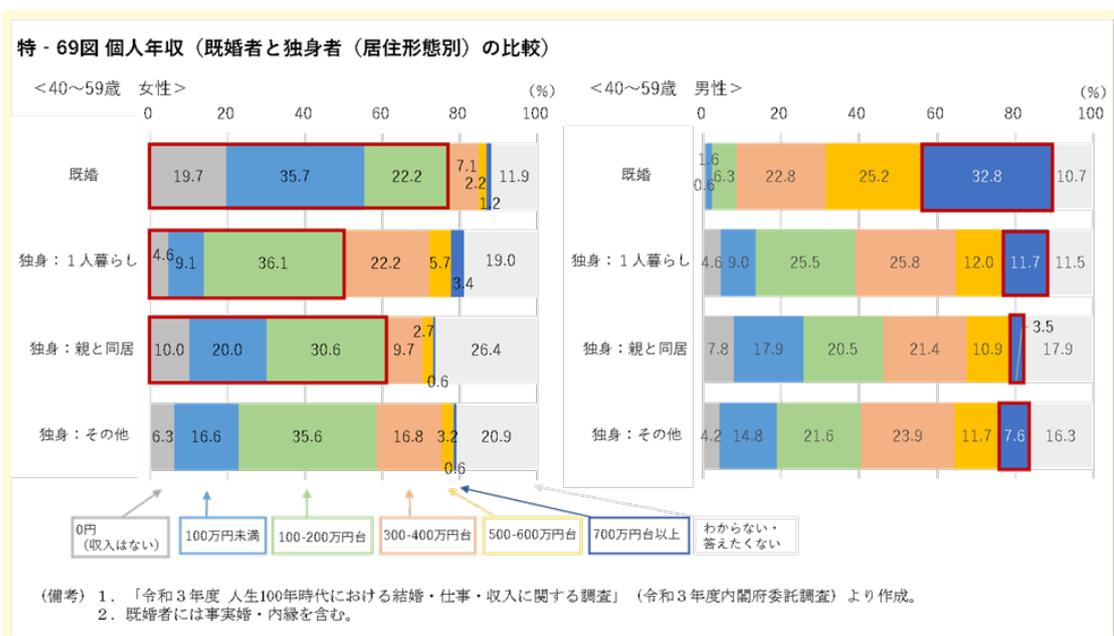
## （5）今週の男女共同参画に関するデータ

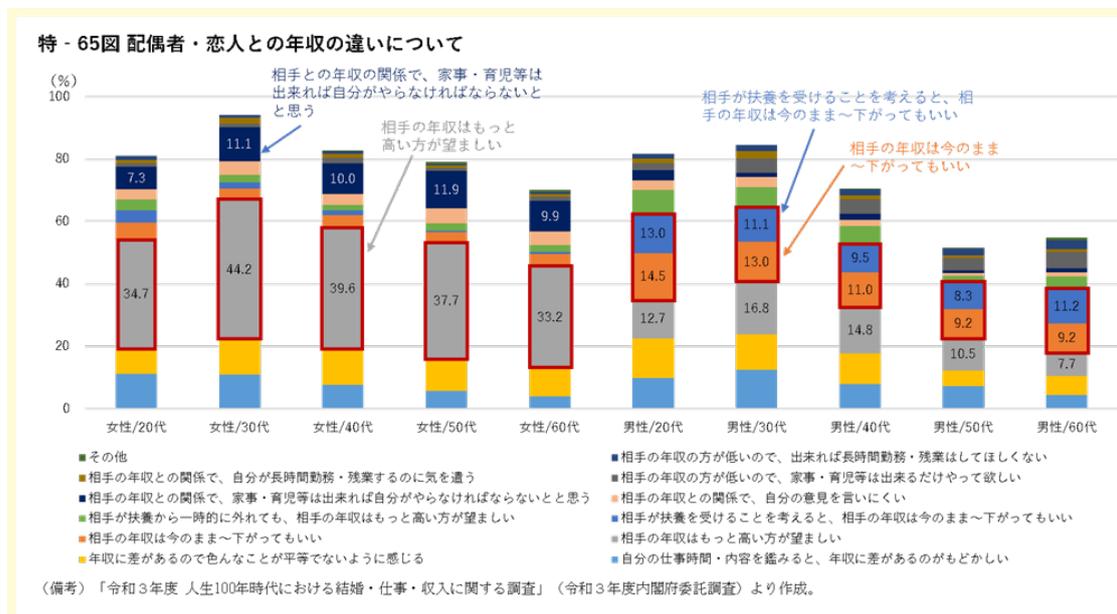
男女共同参画局では、毎週、男女共同参画に関するデータを HP に掲載しています。

メルマガでも御紹介しますので是非ご覧ください。

[https://www.gender.go.jp/research/weekly\\_data/index.html](https://www.gender.go.jp/research/weekly_data/index.html)

【令和4年版男女共同参画白書に関するデータ】第11回 収入を取り巻く状況 ～既婚者と独身者の個人年収の比較～

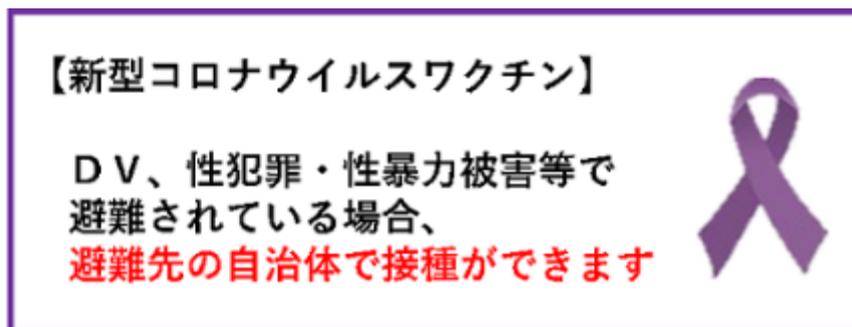




## （6）DV 被害者等のワクチン接種について（再掲）

**D V、性犯罪・性暴力被害等で避難されている場合、住民票所在地以外の居住地で新型コロナウイルスワクチンの接種ができます。**

ワクチン接種に必要な接種券等の**申請方法は、避難している居住地の市区町村に御確認ください。**



## （7）D V、性犯罪・性暴力でお悩みの方の相談窓口一覧（再掲）

D Vや性暴力は、深刻な社会問題です。

D Vや性暴力の被害でお悩みの方、ひとりで悩まず、ご相談ください。

## 【DV相談ナビ】

全国共通の短縮電話番号「# 8 0 0 8」（はれれば）

## 【DV相談プラス】

電話での相談（24 時間対応）：0120-279-889（つなぐ・はやく）

メールでの相談：<https://form.soudanplus.jp/mail>

SNS での相談：<https://form.soudanplus.jp/ja>

（SNS での相談は英語や中国語など 10 言語の外国語にも対応）

## 【性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター】

全国共通の短縮電話番号「# 8 8 9 1」（はやくワンストップ）

## 【性暴力に関するチャット相談「Cure time（キュアタイム）」】

ホームページ（<https://curetime.jp/>）から相談できます。

相談受付 毎週 月・水・土 17:00～21:00

英語や中国語など 10 言語の外国語にも対応

## 文部科学省からのお知らせ

### （1）「こども霞が関見学デー」実施報告について

国立女性教育会館（NVEC）は、「SDGs ゴール5『ジェンダー平等』を学んでみよう」をテーマに、「こども霞が関見学デー」にブースを出展しました。

多くの子どもたちがブースを訪れ、ジェンダーギャップ指数に関するクイズ、女性校長が少ない理由などを考えるワークや男女共同参画すごろくなどに挑戦しました。参加した子どもたちや保護者からは、「日本のジェンダーギャップ指数の順位が低くて驚いた」「こんなに女性の校長先生が少ないとは知らなかった」「もっと平等な社会になってほしい」といった声が多く聞かれました。



詳細はこちら↓

<https://www.nvec.jp/news/R4-kengaku.html>



## (2) 「学校における男女共同参画研修」開催予告

国立女性教育会館（NWEC）では、文部科学省「女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業（学校教育分野における女性の意思決定過程への参加）」を受託し、女性の管理職登用の促進に資する「学校における男女共同参画研修」及び「全国フォーラム」を行います。

参加費は無料。9月27日（火）から申込開始予定です。

### 研修日程

#### ■学校における男女共同参画研修【オンデマンド研修（一部ライブ配信）】

令和4年11月14日（月）～令和5年1月20日（金）

#### ■全国フォーラム【ライブ配信】

令和5年1月20日（金）予定

詳細はこちら↓

[https://www.nwec.jp/event/training/g\\_kyoin2022.html](https://www.nwec.jp/event/training/g_kyoin2022.html)



## 厚生労働省からのお知らせ

### 就職につながるデジタル分野の求職者支援訓練を受講しませんか

事務、WEBデザイン、プログラミングなどを学ぶ職業訓練を無料で受講できる「求職者支援訓練」を受講しませんか？訓練の受講後、多くの女性が活躍されています！

雇用保険の適用がなかった離職者、フリーランス・自営業を廃業した方などが受講の対象です。

一定の要件を満たす場合、生活支援の給付金（月10万円）を受けながら、訓練を受講することができます。

また、訓練コースのなかには、ご自宅で、都合の良い日時に受講できる「eラーニングコース」や、決められた日時に受講する「オンライン対応コース」などもあります。

### ■制度の詳細↓

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyushokusha\\_shien/](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyushokusha_shien/)

求職者支援制度  
デジタル分野の職業訓練  
事務 WEBデザインプログラミング など

受講後、活躍する女性が増えています！

- **受講料無料！**  
さらに月10万円の給付金を  
受けながら（要件あり）、  
訓練を受講することもできます
- **初心者OK！**  
未経験者向けのコースも多く、  
他業種からの転職にも活用できます
- **就職支援充実！**  
訓練前から訓練中、訓練後まで、  
ハローワークが就職活動をサポートします

デジタル分野 訓練コース例

訓練コース
<b>基礎系コース</b> パソコンをあまり触ったことがない方向けのコース。 電卓の入力方やマウス、キーボード操作などの基本利用/パソコン操作方法の習得、一般向けオフィスソフト（マイクロソフト社のOfficeソフト等）の習得、ビジネス文書や帳票の作成や、簡単なWEBページの更新ができることを目指します。 取得できる資格： 日商PC検定、MOS、コンピュータサービステクニカル試験 など
<b>WEBデザインコース</b> HTMLコーディング、CSSコーディング、Java Scriptプログラミングなど、WEBページの制作に必要な知識を習得し、WEBの企画、制作、デザインの基本作業ができることを目指します。 取得できる資格： Illustratorクリエイター能力認定試験スタンダード、Webクリエイター能力認定試験エキスパート など
<b>プログラミング系コース</b> ハードウェア、ソフトウェア、プログラミング言語などの知識を学びます。業務に役立つソフトウェアの開発設計や、基本設計書に基づいたソフトウェアの開発ができることを目指し、コースによっては機械学習やAIなどを学びます。 取得できる資格： Javaプログラミング能力検定、基本情報技術者試験、Oracle Certified Java Programmer など

探したいコース	検索ワード
オンライン（同時双方向）訓練※1 ※1 実施日時が特定された科目について、講師と受講者がオンラインで同時かつ双方向に互いにやりとりするコースです。オンラインは全訓練時間の8割が上限です。	「オンライン対応コース」と入力してください
eラーニングコース※2 ※2 インターネットを活用して、受講者の希望に応じた日時に受講ができるコースです。スクーリング（通所）が組み込まれているコースもあります。	「eラーニング」と入力してください
eラーニングコースやオンライン（同時双方向）訓練で、パソコン等を買出ししているコース	「PC貸出」と入力してください

■ 訓練コースの検索はこちら↓

<https://www.hellowork.mhlw.go.jp/kensaku/GECA150010.do?action=initDisp&screenId=GECA150010>

=====

◆ 男女共同参画局 Facebook について

男女共同参画局フェイスブックでは、最新の施策、関連情報を随時アップしております。是非御覧ください。

<https://www.facebook.com/danjokyodosankaku/>

◆ 男女共同参画局 Twitter について

男女共同参画局ツイッターでは、最新の施策、関連情報を随時アップしております。是非御覧ください。

<https://twitter.com/danjokyoku>

◆ 男女共同参画局公式 YouTube について

男女共同参画局ユーチューブでは、最新の施策、関連情報を随時アップしております。是非御覧ください。

[https://www.youtube.com/channel/UCeJ\\_mPdtAojnTFXbuDnbjQ](https://www.youtube.com/channel/UCeJ_mPdtAojnTFXbuDnbjQ)

◆ 内閣府男女共同参画局のホームページは、男女共同参画に関する総合的な情報提供サイトです。

男女共同参画社会を実現するための法律、基本計画、関係予算等のほか、男女共同参画に関する政策・活動等の情報を掲載しています。

<https://www.gender.go.jp>

◆ 男女共同参画局メールマガジンについて

男女共同参画局メールマガジンは、隔週金曜日 17 時に配信しています。

次号は、令和 4 年 10 月 7 日（金）に配信する予定です。

配信中止・配信先変更は、こちらから

<https://www.gender.go.jp/magazine/index.html>

バックナンバーはこちらから

<https://www.gender.go.jp/magazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0001.html>